

西澤加奈子氏寄贈 「原 智恵子関連資料」の紹介

津 上 智 実

1) 寄贈資料の概要

2005年1月24日に西澤(旧姓板倉)加奈子氏より神戸女学院に寄贈された「原智恵子関連資料」は、ピアニスト原 智恵子(1914—2001)の自筆書簡多数を含む貴重なコレクションであり、その内訳は次のようになっている。

- (1) 書簡95通：原 智恵子自筆書簡90通、秘書代筆3通、板倉 進^①自筆書簡2通、宛名人は西澤(板倉)加奈子およびその家族
- (2) 写真29種(総数47点)：26種(28点)は生前の写真(内4点は自筆のサイン入り)、3種(19点)は近年の再評価に関するもの
- (3) 切り抜き等65点：新聞記事の切り抜き(1928年の渡仏から2001年の逝去、さらにその後の再評価に関するものまで)、雑誌記事の切り抜き(1967年以降)、原智恵子リサイタルのチラシ2点、同プログラム2点、同チケット1点、他
- (4) プログラムおよび関連雑誌9点：内1点(1962年のカサドとのデュオの演奏会プログラム)は自筆のサイン入り
- (5) 香水1点：ランバンのアルページュ

この分類は、寄贈者の西澤加奈子氏がファイル4冊(書簡2冊、写真1冊、切り抜き1冊)に丁寧に貼り込んで下さったのを尊重して踏襲している。香水は原智恵子が生前好んで身につけていた銘柄で、原 智恵子の感性を偲ぶ縁として併せて寄贈された。

2) 寄贈者と原 智恵子

寄贈者の西澤(旧姓板倉)加奈子氏は本学の卒業生(67大S72)であり、ご父君の

板倉 進氏がパリ時代の原 智恵子を支える働きをされたところから、およそ半世紀の長きにわたって原 智恵子と交流を持たれた。

板倉 進氏(1899—1956)は東京日々新聞(現毎日新聞)パリ特派員として1938年から1940年まで、さらに毎日新聞欧州総局長として1952年から1954年までパリに赴任し、原 智恵子を公私両面にわたって強力にサポートされた。その詳細については今年6月に出版された板倉加奈子著『原 智恵子の思い出』(春秋社、2006年)を参照されたい。

西澤(旧姓板倉)加奈子氏にとっての原 智恵子はフランス人形を贈られた8歳の日(1939年)に始まり、「妹のよう」といって原 智恵子からの手紙が届くようになるのは1947年頃(加奈子氏16歳、原 智恵子^③33歳)、その文通は原 智恵子73歳の1987年まで続いた。初期の書簡(20通ほど)は原 智恵子の希望に添って焼却され、現存するのは1952年から1987年までの93通で、今回それらがまとまって寄贈された。

3) 寄贈までの経緯

これらの資料が寄贈となったきっかけは、2004年12月に開催した「原 智恵子メモリアル・コンサート」(神戸女学院大学アートマネジメント研究会主催、於：神戸女学院講堂)の準備を進める中で与えられた。原 智恵子のマネージャーであった梶本尚靖氏や、女学院生時代に学音(関西学生音楽友の会)役員として原智恵子のコンサートを企画された秋山ひさ氏(社団法人神戸女学院教育文化振興めぐみ会理事)から話を聞く中で、原 智恵子と親しかった人物として西澤加奈子氏の名前が挙がり、同窓会であるめぐみ会から連絡先を教えて頂いたのが始まりである。

当時、西澤加奈子氏はエッセイ「原 智恵子の手紙—少女の文筐より」を同人誌『ももんが^④』に連載中で、そのバックナンバーを送って頂いたり、関連記事の切り抜きを送って下さったり、また私の方からは玉川学園資料館所蔵のカサド/原 智恵子関連資料の現状をお話したり、メモリアル・コンサートの資料をお送りしたりという形で交流を深めていった。神戸女学院は原 智恵子が

教鞭をとった唯一の大学であり、また西澤加奈子氏の母校ということもあって、できればこれらの大切な手紙を引き受けてもらえればという意向を漏らされたので、願ってもないことと喜んで頂戴することにした。

2005年1月24日に東京で初めてお目にかかって資料一式を拝受した。場所は六本木の国際文化会館。ここは原 智恵子が定宿にしていたところだからと選んでくださった場で、ゆったりした空間に落ち着いた空気が流れて、原 智恵子の感性の一端が偲ばれるようであった。黒ビロードのスーツに身を包んで現れた西澤加奈子氏はほっそりとした上品なご婦人で、女学院の古きよき伝統とはかくも格調高いものだったのかと目を見張る思いだった。凜とした美しい姿勢は原 智恵子との交流にも貫かれており、あくまでピアニストとして遇するという方針を堅持されてきたことがお話の隅々から感じられた。美しい生き様がここにあると実感できる貴重な一時だった。話が弾んでお昼時となり、会館内のレストランに席を移したところ、原 智恵子が関西滞在時の定宿としていた芦屋の木下家のお嬢様日奈子氏と偶然お会いすることとなったのも奇遇であった。

4) 神戸女学院と原 智恵子

原 智恵子は1957年4月から神戸女学院のピアノ科教授を務め、それまで嗜みないしは教養として考えられていた本学の音楽教育を、コンサート・ピアニストの育成へと舵切りするのに貢献したと考えられる。^⑤

今回寄贈された書簡については、今年2006年6月に西澤加奈子氏が出版された上記の著書『原 智恵子の思い出』にそのおよそ三分二の内容が収録されており、演奏家としての歩みを辿るために必要な情報はほぼ網羅されている。

この著書に収められなかった書簡の中で、神戸女学院に関するものが一通ある。それは1957年1月25日の書簡(書簡番号18番)で、本学への就任に言及している。該当部分を下に引用する。

「お送りいただきました板さんのマントウはあのみ、つかわせていただくつもりでしたが、どうしても男の人の姿になってしまふので、イブニングのス

カートに変えましたが、とてもステキなのが出来上がりました。

今度、この二十九日大阪朝日會館にて神戸女学院の演奏會に出ます時着たい
と思って居りますからごらん下さいませ。

もう恐らく弟子の方々からおきゝのことと思いますが、この春から神戸女学院の音楽部の主任を致すことになり、福沢アクリヴィさんもごいっしょになります。そのひろう演奏會のようなことを二十九日に致すのでございます。どうぞいらして下さいませ。またお目もじを楽しみに。」

ここで「板さん」というのは板倉 進氏のことで、前年に急逝した板倉氏の形見分けとしてマントを贈られたものを、イヴニングのスカートに仕立て直して、今度の演奏會に着するという話である。

その「ひろう演奏會」というのは1957年1月29日に開催された「原 智恵子、福沢アクリヴィ教授就任披露演奏會」（神戸女学院主催、於：大阪朝日會館）で、この時の舞台写真が音楽学部に残っている^⑥。たっぷりとした優雅なスカートは原 智恵子にとって大事な思い出のこもった衣装であったことが、この手紙から明らかとなった。

またこの書簡で印象的なのは「音楽部の主任」になるという一節である。当時、音楽学部長でもあった難波紋吉院長が東京の原邸まで二度足を運んで就任を要請したことは、女学院に保管されている原 智恵子の別の書簡から知られるが、実際にどのような条件で本学に赴任したのかを示す資料はこれまで見つかっておらず、主任としての就任要請であったという情報は初出である。

5) 資料の今後

原 智恵子の書簡の保存状態はすこぶる良好で、これまでていねいに扱われてきたことがよく分かる。だがその大半は国際便の薄いレターペーパーに書かれており、半永久的に保存するためにはそれなりの処理と管理が必要である。

幸いにも専門的な知識を備える学院史料室がこの貴重な資料を引き受けて、今後末永く保存され有効に活用されるよう取り計らってくれることになったのは大変喜ばしいことで、これをもってこの報告の結びとする。

註

- ① 西澤加奈子氏の父君。詳細は後述。
- ② 詳しくは巻末に掲載の寄贈目録を参照のこと。
- ③ 板倉加奈子『原 智恵子の思い出』（春秋社、2006年）、50頁。
- ④ 東大仏文・独文関係者を主とする同人誌。
- ⑤ 原 智恵子と神戸女学院との関わりについては、拙論「原 智恵子と神戸女学院」『神戸女学院大学論集』第52巻第1号（神戸女学院大学研究所、2005年7月）、51—69頁、を参照されたい。
- ⑥ 同上、58頁に写真5として掲載。
- ⑦ 同上、66—67頁に掲載。1980年9月1日付の岡本道雄院長宛の書簡。
(音楽学部教授)

寄贈目録「原 智恵子関連資料」

書 簡

番号	年月日	発 信 地	送り手	受取人	備 考
	?	?	原 智恵子	板倉加奈子	年号不詳
1	1952. 1.10	麻布広尾	原 智恵子	板 倉 進	はがき 筆跡は秘書(片岡女史)
2	1952.10.13	麻布広尾	原 智恵子	板 倉 進	封筒あり
3	1952.11.18	ローマ	板 倉 進	板倉加奈子	はがき
4	1952.12. 8	麻布広尾	原 智恵子	板倉加奈子	はがき 筆跡は秘書(片岡女史)
5	1953. 2.14	麻布広尾	原 智恵子	板倉加奈子	はがき 筆跡は秘書(片岡女史)
6	1953. 4.19	パリ	板 倉 進	板倉 愛子	封筒あり
7	1953. 4.11	麻布広尾	原 智恵子	板倉加奈子	封筒あり 速達
8	1953. 6.18	麻布広尾	原 智恵子	パリ 板倉 進	封筒あり
9	1953. 8.26	パリ	原 智恵子	板倉加奈子	封筒あり
10	1953 暮	パリ	原 智恵子	板倉加奈子	クリスマスカード
11	1954. 1.25	パリ	原 智恵子	板倉加奈子	封筒あり
12	1954 春	パリ	原 智恵子	板倉加奈子	
13	1954.11.30	パリ	原 智恵子	板 倉 進 板倉 愛子 板倉 加奈	クリスマスカード
14	1955. 1.18	パリ	原 智恵子	板 倉 進	封筒あり
15	1955. 1.29	パリ	原 智恵子	板 倉 進	封筒あり
16	1955. 8.11	パリ	原 智恵子	板倉加奈子	封筒あり

17	1956. 9. 26	麻布広尾	原 智恵子	板倉加奈子	封筒あり 板倉進の訃報に対して
18	1957. 1. 25	麻布広尾	原 智恵子	板倉加奈子	封筒あり 速達
19	1957. 5. 4	麻布広尾	川添智恵子	板倉加奈子	封筒あり
20	1957. 1. 17	フィレンツェ	原 智恵子	西澤 龍生	はがき
21	1959. 1. 17	フィレンツェ	原 智恵子	西澤加奈子	はがき
22	1959. 2. 11	フィレンツェ	原 智恵子	西澤加奈子	
23	1959. 4. 27	フィレンツェ	原 智恵子	西澤加奈子	
24	1959. 5. 12	ケルン	原 智恵子	西澤加奈子	はがき
25	1959. 8. 31	サンティアゴ・デ・コンポステラ	原 智恵子	西澤加奈子	封筒あり
26	1959. 9. 11	フィレンツェ	原 智恵子	西澤加奈子	封筒あり
27	1959. 9. 25	フィレンツェ	原 智恵子	西澤加奈子	封筒あり
28	1959. 10. 16	フィレンツェ	原 智恵子	西澤加奈子	封筒あり
29	1959. 10. 23	フィレンツェ	原 智恵子	西澤加奈子	封筒あり
30	1959. 11. 12	ケルン	原 智恵子	板倉 愛子	はがき
			西澤加奈子		
			西澤 龍生		
31	1960. 1. 29	フィレンツェ	原 智恵子	西澤加奈子	封筒あり
32	1960. 2. 25	パリ	原 智恵子	西澤 龍生	はがき
33	1960. 3. 5	フィレンツェ	原 智恵子	西澤加奈子	封筒あり
34	1960. 5. 30	フィレンツェ	原 智恵子	西澤 龍生	封筒あり
35	1960. 6. 10	ブリュール	原 智恵子	板倉 愛子	はがき
			西澤加奈子		
36	1960. 7. 12	フィレンツェ	原 智恵子	西澤加奈子	封筒あり
				西澤 龍生	
37	1960. 7. 19	フィレンツェ	原 智恵子	西澤 龍生	封筒あり
38	1960. 7. 19	フィレンツェ	原 智恵子	西澤加奈子	封筒あり
39	1960. 7. 19	フィレンツェ	原 智恵子	西澤加奈子	封筒あり
				西澤 龍生	
40	1960. 8. 11	シエナ	原 智恵子	板倉 愛子	はがき
			西澤加奈子		
			西澤 龍生		
41	1960. 8. 16	グスタード	原 智恵子	西澤加奈子	はがき
				西澤 龍生	
42	1960. 8. 21	サンティアゴ・デ・コンポステラ	原 智恵子	西澤加奈子	封筒あり
43	1960. 9. 9	サンティアゴ・デ・コンポステラ	原 智恵子	西澤加奈子	封筒あり
44	1960. 11. 30	パリ	原 智恵子	西澤加奈子	はがき
45	1960. 12. 12	シュトゥットガルト	原 智恵子	西澤加奈子	はがき
				西澤 龍生	
46	1960. 12. 15	フィレンツェ	原 智恵子	西澤加奈子	はがき
				西澤 龍生	

47	1960.12.20	フィレンツェ	原 智恵子	西澤 龍生	封筒あり
48	1961. 3.17	ニューヨーク	原 智恵子	西澤加奈子	はがき
49	1961. 6.13	フィレンツェ	原 智恵子	西澤加奈子	封筒あり
50	1961. 7.12	ケルン	原 智恵子	西澤加奈子 西澤 龍生	はがき
51	1961. 7.18	シエナ	原 智恵子	西澤加奈子	はがき
52	1961. 8.13	シエナ	原 智恵子	西澤加奈子 西澤 龍生	はがき
53	1961. 9.17	ミュンヘン	原 智恵子	西澤加奈子 西澤 龍生	はがき
54	1961.10.19	フィレンツェ	原 智恵子	西澤加奈子	封筒あり
55	1961.11.27	パリ	原 智恵子	西澤加奈子 西澤 龍生	はがき
56	1961.12. 2	パリ	原 智恵子	西澤加奈子 西澤 龍生	はがき
57	1961.12.20	フィレンツェ	原 智恵子	西澤加奈子 西澤 龍生	
58	1962. 2. 1	フィレンツェ	原 智恵子	西澤加奈子 西澤 龍生	
59	1962. 3. 9	ミシガン州ミッドランド	原 智恵子	西澤加奈子 西澤 龍生	
60	1962. 4.15	モスクワ	原 智恵子	西澤加奈子 西澤 龍生	はがき
61	1962. 4.28	モロッコ	原 智恵子	西澤加奈子 西澤 龍生	はがき
62	1962. 6. 4	フィレンツェ	原 智恵子	西澤加奈子 西澤 龍生	
63	1962. 7	グラナダ	原 智恵子	西澤加奈子 西澤 龍生	はがき
64	1962. 8.10	シエナ	原 智恵子	西澤加奈子 西澤 龍生	はがき
65	1962. 9. 3	サンティアゴ・デ・コンポステラ	原 智恵子 永富 和子	西澤加奈子 西澤 龍生	はがき
66	1963. 2.20	ローマ	原 智恵子	西澤加奈子 西澤 龍生	はがき
67	1963. 3.15	フィレンツェ	原 智恵子	西澤加奈子	
68	1963. 6.24	フィレンツェ	原 智恵子	西澤加奈子	
69	1963. 8. 3	グスタード	原 智恵子	西澤加奈子 西澤 龍生	はがき
70	1963. 9.23	ケルン	原 智恵子	西澤加奈子 西澤 龍生	はがき
71	1963.10.13	フィレンツェ	原 智恵子	西澤加奈子	

72	1964. 2.14	フィレンツェ	原 智恵子	西澤加奈子	
73	1964. 2.28	パリ	原 智恵子	西澤加奈子 西澤 龍生	はがき
74	1964. 9.28	ブカレスト	原 智恵子	西澤加奈子 西澤 龍生	はがき
75	1964.12.13	フィレンツェ	原 智恵子	西澤加奈子	
76	1964.12.24	チューリッヒ	原 智恵子	西澤加奈子	
77	1965. 4. 2	アテネ	原 智恵子	西澤加奈子 西澤 龍生	はがき
78	1965. 6.13	パリ	原 智恵子 永富 和子	西澤加奈子 西澤 龍生	はがき
79	1965. 7.31	フィレンツェ	原 智恵子 永富 和子	西澤加奈子 西澤 龍生	はがき
80	1965. 9.11	フィレンツェ	原 智恵子	西澤加奈子 西澤 龍生	はがき
81	1965. 9.14	サンティアゴ・デ・コンボステラ	原 智恵子	西澤加奈子 西澤 龍生	はがき
82	1966. 2.23	フィレンツェ	原 智恵子 呉 茂一 とみ代	西澤加奈子 西澤 龍生	はがき
83	1966. 4.21	ヒルデスハイム	原 智恵子	西澤加奈子 西澤 龍生	はがき
84	1966.11.19	ケルン	原 智恵子	西澤加奈子 西澤 龍生	
85	1966.12. 5	ケルン	原 智恵子	西澤加奈子 西澤 龍生	はがき
86	1967. 5.29	フィレンツェ	原 智恵子	西澤加奈子 西澤 龍生	
87	1969. 1.20	フィレンツェ	原 智恵子	西澤加奈子 西澤 龍生	
88	1969.12. 4	フィレンツェ	原 智恵子	西澤 龍生	封筒あり
89	1969.12.12	フィレンツェ	原 智恵子	西澤加奈子	
90	1970. 8. 2	フィレンツェ	原 智恵子	西澤加奈子	
91	1974. 9. 2	フィレンツェ	原 智恵子	西澤加奈子 西澤 龍生	
92	1976. 6.22	フィレンツェ	原 智恵子	西澤加奈子	
93	1980. 8.20	フィレンツェ	原 智恵子	西澤加奈子	
94	1981. 3.31	フィレンツェ	原 智恵子	西澤加奈子 西澤 龍生	はがき
95	1987. 9. 3	ヴヴェイ	原 智恵子	西澤加奈子 西澤 龍生	はがき 最後の来信

写 真

番号	写 真 内 容
1	原 智恵子アップ
2	原 智恵子アップ(メッセージ、サイン入り)
3	右：ピリャベルデ先生と兄。左：結婚式。下：13歳の智恵子。
4	有島生馬
5	聖句カード
6	香取丸にて
7	原 智恵子、国立パリ音楽院コンクール首席入賞
8	マルセルと板倉 進
9	ワルシャワにて、第3回ショパンコンクール
10	A. コルトー
11	原 智恵子/伝説のピアニスト
12	川添紫郎と原 智恵子の結婚写真など
13	スメラ学塾の塾員たち
14	板倉 進、原 智恵子、川添紫郎
15	着物姿
16	ピアノの前の原 智恵子(サイン入り)
17	パリにて 板倉 進
18	1958年 渡巴する原 智恵子
19	シエナ キジ・サラチーニ宮におけるカサド夫妻(メッセージ、サイン入り)
20	キジ音楽院文書館所蔵(1960)キジ伯爵と智恵子・カサド夫妻
21	シエナにて 1961年8月 コルトー、キジ伯爵、原 智恵子、カサド、カザルス、サハロフ博士
22	ベールをかぶる智恵子(メッセージ、サイン入り)
23	原 智恵子、カサド夫妻 クリスマスカード
24	原 智恵子、カサド夫妻
25	1961年 アスコーナにて
26	メッセージ入りの名刺
27	1960年8月 シエナにて西澤(板倉)加奈子と
28	原 智恵子 展示会 2002年ヤマハ銀座(2枚) 2002年山野楽器 2004年ヤマハ銀座(3枚)
29	〔青アルバム〕 原 智恵子 展示会 2002年山野(3枚) 2002年ヤマハ銀座店(3枚) 2004年ヤマハ銀座店(6枚)

切 り 抜 き

番号	年 月 日	記 事 内 容	備 考
1	新聞切り抜き(2枚)	パリ留学へ	
2	新聞切り抜き	東京朝日新聞 1932. 7. 1	パリ 音楽コンクール首席一等
3	新聞切り抜き	1937. 3.14	ショパンコンクール 15位
4	新聞切り抜き	1951	ハワイで歓迎
5	新聞切り抜き		ピアノリサイタル
6	新聞切り抜き		神戸
7	新聞切り抜き	1953. 7	素晴らしい柳川 守さん
8	新聞切り抜き	1953. 1. 7	仏のサロン音楽
9	新聞切り抜き		育たない国土
10	新聞切り抜き	1953.11.24	パリで気をはく
11	新聞切り抜き	1952	コルトー来日公演を聞いて 原 智恵子インタビュー
12	L'Heure Francaise 紙	1954.12.12	Butterfly pianiste
13	Le Monde 紙	1954.12. 7	Les Concerts : Chieko-Hara
14	Le Monde 紙	1954.12. 7	Les Concerts : Chieko-Hara
15	新聞切り抜き	1955. 2.30	パリの原 智恵子
16	新聞切り抜き	1953.11.26	国際舞台に輝く実力
17	新聞切り抜き	1955	帰国は楽し、名残り惜し
18	新聞切り抜き	1955	ピアノ独奏会
19	ピアノリサイタル チケット	.12.17	日比谷公会堂
20	プログラム		ピアノリサイタル
21	チラシ		ピアノリサイタル
22	チラシ	1962.12.19	原 智恵子特別演奏会
23	プログラム	1962.12.19	原 智恵子特別演奏会
24	新聞切り抜き		パリの芸術と高級車
25	カサド夫妻結婚通知		カサド夫妻結婚通知
26	新聞切り抜き		犬養道子 「原 智恵子さんのこと」
27	新聞切り抜き		カサド夫妻来日
28	Lavante 紙	1962. 6.24	Sociadad Filarmanica ショパンのピアノ協奏曲
29	Valencia 紙	1962. 6.24	Concierto extraordinario de Chieko Hara, Gaspar Cassado y la Orquesta Municipal, con Ferriz

30	新聞切り抜き	1962.10.17	カサドと原 智恵子
31	「音楽の友」切り抜き	1967. 9	カサド夫妻のこと
32	切り抜き(2枚)		GASPAR CASSADÓ
33	カサド氏逝去の通知	1967. 3.24	カサド氏逝去の通知
34			カサド氏逝去についての悔みに 対する返事
35	『音楽の友』		カサドの想い出に生きる
36			展覧会への招待
37	新聞切り抜き(2枚)	2001.12.10	原 智恵子死去
38	原 智恵子死去の通知		
39	新聞切り抜き	2001.12.17	三善 晃 「原 智恵子さんを悼む」
40	諸井昭二 手紙	2001.12.10	
41	『新潮45』	1996. 1	石川康子 「原 智恵子 優雅で感傷的な 最終楽章」
42	新聞切り抜き	2002. 3.17	石川康子 『原 智恵子 伝説のピアニスト』
43	週間新潮 切り抜き	2001.12.27	石川康子 『原 智恵子 伝説のピアニスト』
44	朝日新聞(夕刊)	2004.11.12	クラシック視聴室
45	CD チラシ		CD チラシ 「原 智恵子 伝説のピアニスト」
46	月刊『ぶらあぼ』	2002.11	CD チラシ 「原 智恵子 伝説のピアニスト」
47	月刊『ぶらあぼ』	2002.11	CD チラシ 「原 智恵子 伝説のピアニスト」
48	神戸新聞 Web News(4枚)	2002.11	伝説のピアニストに光 神戸出身の原 智恵子
49	日経新聞(夕刊)	2002.10.17	めざせ国際コンクール
50	朝日新聞	2003. 3.20	原 智恵子 再び輝く
51	公開講座 チラシ	2002. 8.31	石川康子 『原 智恵子 伝説のピアニスト』
52	西日本新聞	2002.11.13	原 智恵子 演奏記録CD化
53			石川康子 『原 智恵子 伝説のピアニスト』
54	年譜		石川康子作成 原 智恵子関係年譜
55			石川康子作成 原 智恵子関係年譜 (コンサート日付順)

56		石川康子 「国際人 原 智恵子」
57	毎日新聞	バッハ楽譜発見
58	読売新聞	2002. 4. 4 バッハ楽譜発見
59	朝日新聞	2002. 4. 4 バッハ楽譜発見
60	毎日新聞	幻のバッハ 世界初演
61	産経新聞	バッハ「幻の楽譜」公開へ
62	毎日新聞	2002.11.19 幻のバッハ 280年ぶり演奏へ
63	新聞切り抜き	バッハ復元コンサート
64	読売新聞	2002. 4. 11 国際チェロコンクール
65	Web コピー(3部)	カサド

プログラムなど

番号	年 月 日		場 所
1	1950.10.14,15 1950.10.17	ラザール・レヴィ ピアノ演奏会 (2台ピアノ)	北野劇場 京都松竹座
2		ショパン国際ピアノコンクールの奇跡	
3	1951. 6. 2,3	NIKKYO PROGRAM	宝塚大劇場
4	1952. 6. 9	スペイン舞踏 エスパニタ コルテス	帝国劇場
5	1958. 5.30	GASPAR CASSADÓ	産経ホール
6	1962.10.19 1962.10.22 1962.10.23 1962.10.26 1962.10.30 1962.11. 1 1962.11. 2 1962.11. 5,6,7 1962.11. 9 1962.11.10 1962.11.14,15,16	デュオ カサド(サイン入り)	東京文化会館 神奈川音楽堂 名古屋公会堂 京都会館第一ホール 戸畑文化ホール 毎日新聞ホール 福岡電気ホール 東京厚生年金ホール 京都会館第一ホール 神戸国際会館 東京文化会館
7	1960	Brühler Schlosskonzerte	
8	2002.11号	雑誌 Varie	
9	2002.12.23 発行	music bird	
10	香水	LANVIN ARPÈGE	